

## Kofax FraudOne

### 画像をベースとしたKofaxソリューションにより、リアルタイムで小切手詐欺を検出する

米国の6つの大手銀行と協力して開発されたKofax FraudOne®により、ユーザーはリアルタイムで(第0日)と、第1日目、2日目から詐欺を検出できます。調査した銀行組織の71%が小切手は、ビジネスにおいて主要な詐欺ターゲットであると回答している現代において、FraudOneは小切手の署名と在庫の小切手の画像の異常を検出することで詐欺リスク全体を削減する、包括的な小切手画像による詐欺検出プラットフォームです。

法的小切手および名目上の小切手の限度金額のみをチェックし、低リスクスコアを提供し、誤検出率が高く、大量の手作業の検査が必要である簡単な小切手決済方法とは異なり、FraudOneは洗練された詐欺スコアリングエンジンを使用しています。このエンジンに様々なオプションの検証エンジンを組み合わせることができ、その結果、より正確に複雑な詐欺スキームを検出する、より強固な複合リスクスコアを実現すると同時に、労働集約的で時間を消費する手作業の検査を最小限に抑えます。

金融機関が提供する取引オプション(例:モバイルデバイスによるリモート預金)は絶え間なく進化していますが、犯罪者はより洗練された、検出が困難な詐欺スキームを生み出し続けています。FraudOneはこの問題に対応し、キャプチャの時点と決済プロセスで適用可能な、柔軟性のある、調整可能な詐欺検出方法で危険を最小限に抑えます。詐欺の可能性のあるアイテムが検出されると、FraudOneは迅速かつ正確にフラグを立て、このため、金融機関はカスタマーエクスペリエンスを向上し、資金決済時間を短縮します。しかも、詐欺にさらされるリスクは上がりません。

### FraudOneの仕組み

FraudOneは強力に継続的にアップデートされるデータベースを強化します。このデータベースは参照用署名や在庫の小切手の画像、および追加口座情報を保管します。小切手はリアルタイムか、またはバッチモードで処理され、詐欺の可能性のあるアイテムにフラグを立てます。銀行は独自のスコアリング基準(および他の要因)およびFraudOne独自の複合リスクスコア(CRS)エンジンにより提供される複合リスクスコアに基づき、支払い/拒否を決定できます。

### 複合リスクスコアエンジン

署名の検証や在庫の小切手の比較だけでは、ますます狡猾になる犯罪者を捕まえられません。FraudOneの複合リスクスコアエンジンは、多くの特徴を強化し、小切手詐欺をより正確に特定できます。このエンジンは、小切手の署名とファイルにある、参照用の署名の比較を含め、多くの加重要因を考慮し、インテリジェントな支払い/拒否の決定を行うために、外部システムから得た情報を活用します。さらに、FraudOneは在庫の小切手の差異を特定し、アイテムが事前承認されているかどうかを判断し、受取人が銀行独自のホワイトリストやブラックリストに記載されているかを検証します。



Kofax FraudOneは、在庫の小切手の差異を特定し、アイテムが事前承認小切手(PAD)かどうかを判断し、受取人が銀行独自のホワイトリストやブラックリストに掲載されているかを検証します。

小切手により詐欺アラートが発行されると、銀行の詐欺アナリストによる確認のため、問題のある小切手はビジュアルな検証キューに入ります。アナリストはクライアントアプリケーションを使用して、キューを保管するバックオフィスシステムへアクセスします。

銀行の詐欺リスク低減のパフォーマンスをさらに向上するため、FraudOneの最新バージョンは Kofax Insight™ 分析ソフトウェアの厳選された機能を強化した、広範なレポートダッシュボードのリストを備えています。これらのレポートでは、事前に構築されたダッシュボードが提供され、銀行の全体的な詐欺の脅威および詐欺検出指標に、より簡単かつ迅速にアクセスできます。標準レポートは簡単に向上でき、ユニークなダッシュボードは、Insightの機能を実装することで構成できます。

### 利点

FraudOneには、以下の主な利点があります。

#### 多くの導入オプション

自動の小切手詐欺検出機能は、モバイルデバイスや画像対応ATM、あるいは社内小切手の窓口入金向けに導入できます。

#### 既存のシステムに簡単に統合

FraudOneは詐欺の検出と予防のための既存フレームワークに簡単に統合し、任意の数の外部インプットを利用し、複合リスクスコアの結果を向上できます。

#### 具体的な要件にカスタマイズ可能

提供される署名の検証、在庫の小切手および複合リスクスコアエンジンを使用して、独自のカスタマイズしたルールセットを構築したり、様々な検証エンジンオプションを追加したりして、事前に承認された小切手や受取人の行、日付の行を検出します。

#### 電子署名キャプチャを強化

Kofax SignDoc®を使用して、署名参照データベースをキャプチャし、入力します。

## 銀行の小切手詐欺検出を超える、FraudOne向けの実用的なアプリケーションは以下を備えています。

**患者の識別:** サービスの不正使用を削減するために、非緊急医療搬送会社によって使用されます。顧客を認証するために、サービス提供時点で電子署名が取り込まれ、データベースに保管されている署名と比較されます。署名の検証機能を使用することで、この組織の不正な取引を大幅に削減しました。

**不在投票者の識別:** Pitney BowesのReliaVoteは不在者投票に関連する不正を特定するために、全米の各郡で展開されています。FraudOne搭載テクノロジーは郵便投票機器に統合され、不在者投票を開き、その署名を読み取り、ソートし、検証します。FraudOne署名検証エンジンが統合される前、不在者投票は不在者投票の申請書の署名と郵送フォームの署名を比較するために、手作業での確認が必要でした。

**ブローカー/ディーラーの識別:** FraudOneは金融機関に、ブローカーやディーラーの承認された署名を参照用署名データベースと比較し、自動で検証できる署名検証ソリューションを提供します。

---

Kofax FraudOneについて詳しくは、[kofax.jp](http://kofax.jp)をご覧ください。